

## 令和3年度ネットリサーチ「eスポーツ」に関するアンケート結果報告書

### ■結果のポイント

- eスポーツの認知度については、「内容までよく知っている」(30.2%)、「言葉は聞いたことがある」(55.7%)を合わせた【知っている】が85.9%となっている。
- eスポーツに対する印象については、「反射神経、動体視力、瞬発力が求められるので、スポーツ競技である」で、「そう思う」(23.2%)、「ややそう思う」(34.3%)を合わせた【そう思う】が57.5%となっている。
- eスポーツを推進するために県が取り組むべきことについては、「地域振興を図った各地域でのeスポーツイベントの開催」が28.6%、「健康長寿に向けた高齢者のeスポーツ講座」が25.0%となっている。

### ■調査結果の概要

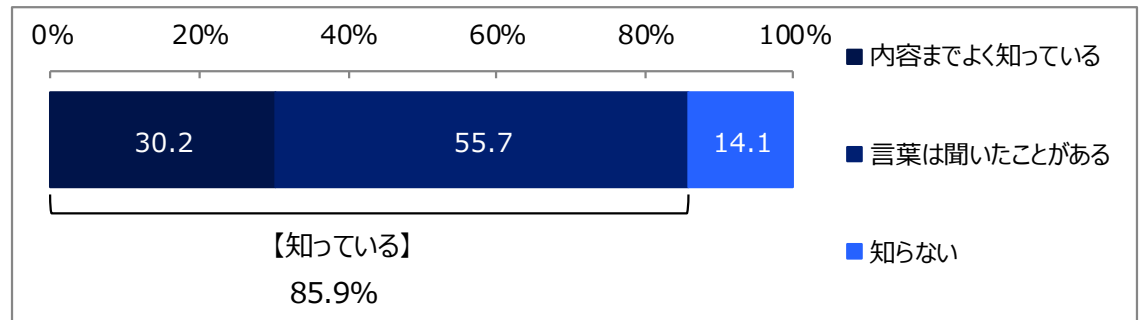
#### 1 eスポーツの認知度

☆ 「内容までよく知っている」(30.2%)、「言葉は聞いたことがある」(55.7%)を合わせた【知っている】が85.9%となっている。

Q1.あなたは「eスポーツ」という言葉を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
内容までよく知っている	30.2	302
言葉は聞いたことがある	55.7	557
知らない	14.1	141



## 2 eスポーツに関連して見聞きしたり行ったりしたこと

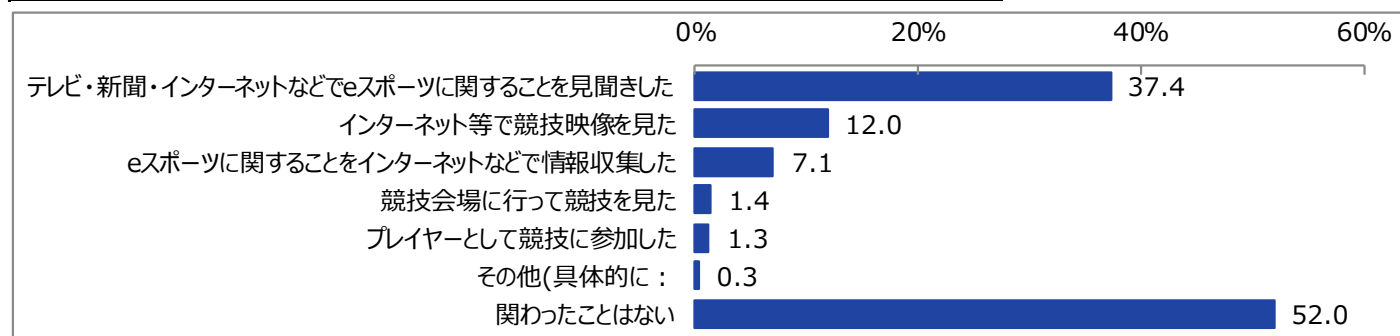
☆ 「テレビ・新聞・インターネットなどでeスポーツに関することを見聞きした」が37.4%、「インターネット等で競技映像を見た」が12.0%となっている。

(Q1で「1.内容までよく知っている」「2.言葉は聞いたことがある」を選択した方へ)

Q2.あなたは直近1年間で、eスポーツに関連して見聞きしたり行ったりしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	859
テレビ・新聞・インターネットなどでeスポーツに関することを見聞きした	37.4	321
インターネット等で競技映像を見た	12.0	103
eスポーツに関することをインターネットなどで情報収集した	7.1	61
競技会場に行って競技を見た	1.4	12
プレイヤーとして競技に参加した	1.3	11
その他(具体的に：	0.3	3
関わったことはない	52.0	447

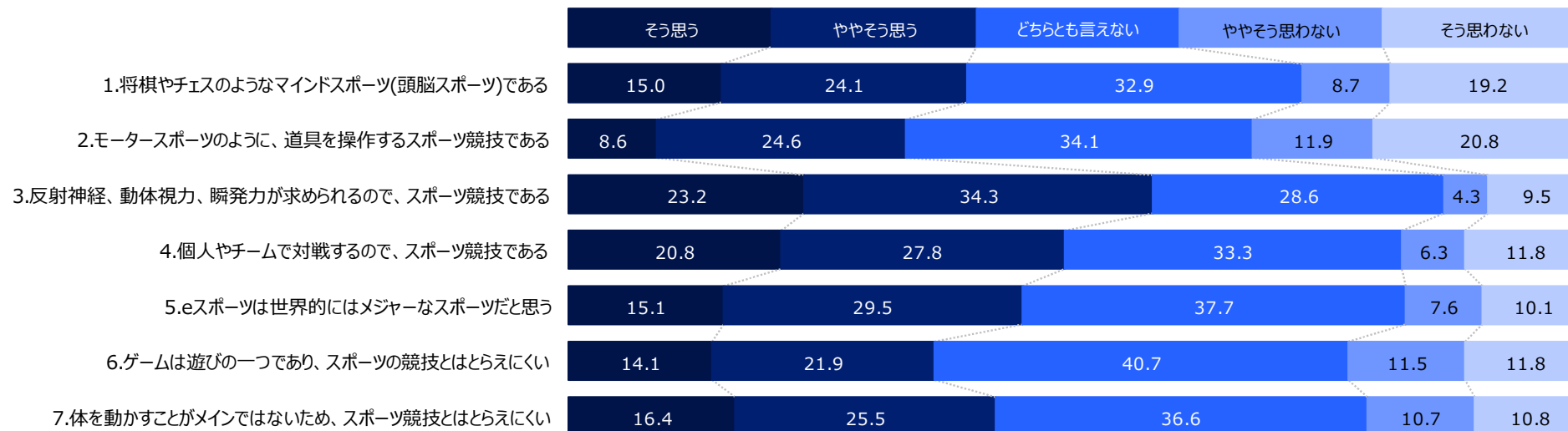


### 3 eスポーツに対する印象

☆ 「反射神経、動体視力、瞬発力が求められるので、スポーツ競技である」については、「そう思う」(23.2%)、「ややそう思う」(34.3%)を合わせた【そう思う】が57.5%となっている。

Q3.あなたのeスポーツに対する印象について、あてはまるものをそれぞれ選んでください。

SA



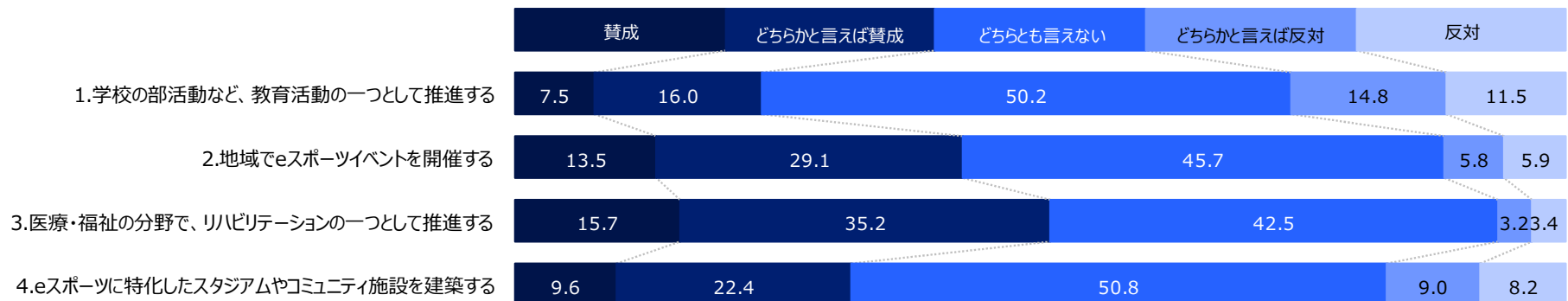
	% n	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	ややそう思わない	そう思わない	【そう思う】	【そう思わない】
1.将棋やチェスのようなマインドスポーツ(頭脳スポーツ)である	100.0 859	15.0 129	24.1 207	32.9 283	8.7 75	19.2 165	39.1 336	27.9 240
2.モータースポーツのように、道具を操作するスポーツ競技である	100.0 859	8.6 74	24.6 211	34.1 293	11.9 102	20.8 179	33.2 285	32.7 281
3.反射神経、動体視力、瞬発力が求められるので、スポーツ競技である	100.0 859	23.2 199	34.3 295	28.6 246	4.3 37	9.5 82	57.5 494	13.9 119
4.個人やチームで対戦するので、スポーツ競技である	100.0 859	20.8 179	27.8 239	33.3 286	6.3 54	11.8 101	48.7 418	18.0 155
5.eスポーツは世界的にはメジャーなスポーツだと思う	100.0 859	15.1 130	29.5 253	37.7 324	7.6 65	10.1 87	44.6 383	17.7 152
6.ゲームは遊びの一つであり、スポーツの競技とはとらえにくい	100.0 859	14.1 121	21.9 188	40.7 350	11.5 99	11.8 101	36.0 309	23.3 200
7.体を動かすことがメインではないため、スポーツ競技とはとらえにくい	100.0 859	16.4 141	25.5 219	36.6 314	10.7 92	10.8 93	41.9 360	21.5 185

#### 4 eスポーツに関する活動

☆ 「医療・福祉の分野で、リハビリテーションの一つとして推進する」については、「賛成」(15.7%)、「どちらかと言えば賛成」(35.2%)を合わせた【賛成】が50.9%となっている。

Q4.eスポーツに関する活動について、あなたの考えにあてはまるものをそれぞれ選んでください。

SA



	n	賛成	どちらか と言えば賛成	どちらとも 言えない	どちらか と言えば反対	反対	【賛成】	【反対】
1.学校の部活動など、教育活動の一つとして推進する	100.0 1000	7.5 75	16.0 160	50.2 502	14.8 148	11.5 115	23.5 235	26.3 263
2.地域でeスポーツイベントを開催する	100.0 1000	13.5 135	29.1 291	45.7 457	5.8 58	5.9 59	42.6 426	11.7 117
3.医療・福祉の分野で、リハビリテーションの一つとして推進する	100.0 1000	15.7 157	35.2 352	42.5 425	3.2 32	3.4 34	50.9 509	6.6 66
4.eスポーツに特化したスタジアムやコミュニティ施設を建築する	100.0 1000	9.6 96	22.4 224	50.8 508	9.0 90	8.2 82	32.0 320	17.2 172

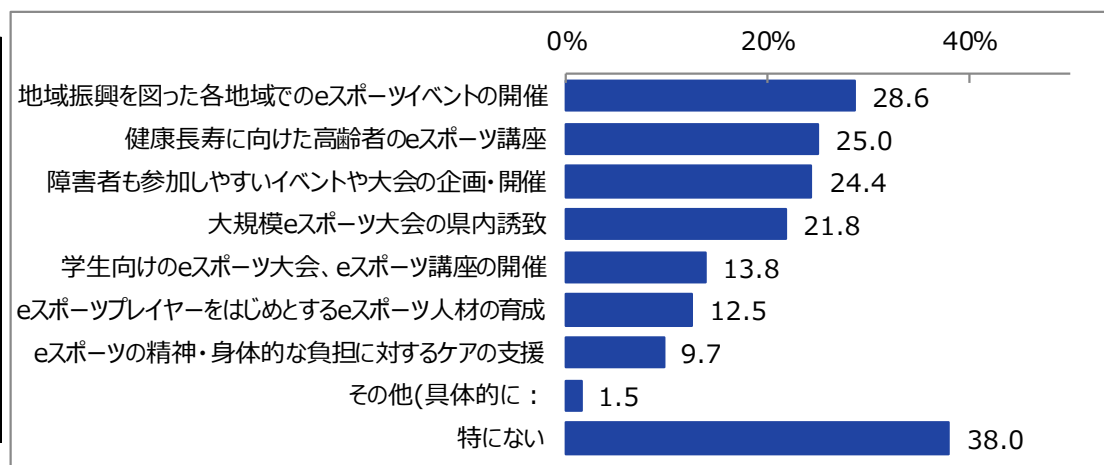
## 5 eスポーツを推進するための取組

◇ 「地域振興を図った各地域でのeスポーツイベントの開催」が28.6%、「健康長寿に向けた高齢者のeスポーツ講座」が25.0%となっている。

Q5.eスポーツを推進するために、県はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
地域振興を図った各地域でのeスポーツイベントの開催	28.6	286
健康長寿に向けた高齢者のeスポーツ講座	25.0	250
障害者も参加しやすいイベントや大会の企画・開催	24.4	244
大規模eスポーツ大会の県内誘致	21.8	218
学生向けのeスポーツ大会、eスポーツ講座の開催	13.8	138
eスポーツプレイヤーをはじめとするeスポーツ人材の育成	12.5	125
eスポーツの精神・身体的な負担に対するケアの支援	9.7	97
その他(具体的に：	1.5	15
特にない	38.0	380



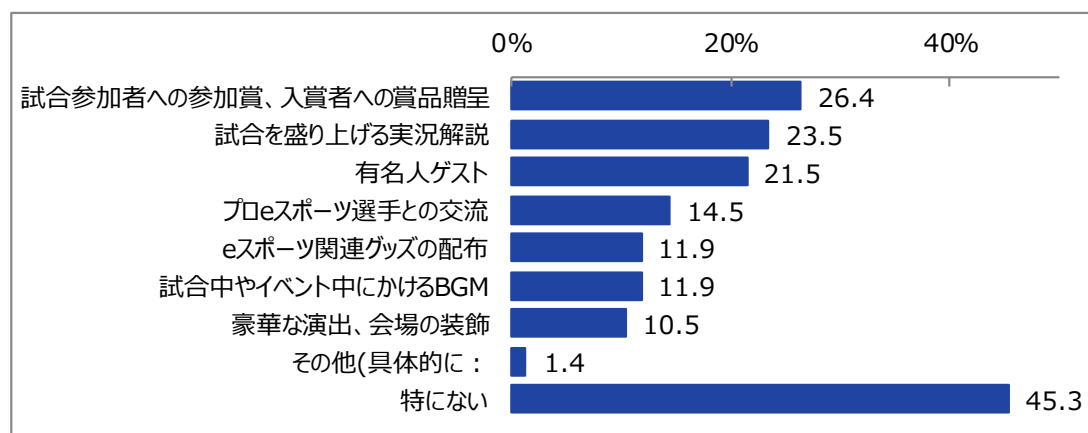
## 6 eスポーツ大会・イベントで求めるサービス

◇ 「試合参加者への参加賞、入賞者への賞品贈呈」が26.4%、「試合を盛り上げる実況解説」が23.5%となっている。

Q6.eスポーツの大会やイベントにおいて、あると嬉しいサービスはなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
試合参加者への参加賞、入賞者への賞品贈呈	26.4	264
試合を盛り上げる実況解説	23.5	235
有名人ゲスト	21.5	215
プロeスポーツ選手との交流	14.5	145
eスポーツ関連グッズの配布	11.9	119
試合中やイベント中にかけるBGM	11.9	119
豪華な演出、会場の装飾	10.5	105
その他(具体的に：	1.4	14
特にない	45.3	453



## ■調査の目的

県では、ビジネスや地域づくりなどへのeスポーツの活用を促すことで、新たなeスポーツ産業の創造を目指す「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト」を進めている。今後の事業展開を図るための参考資料とするため、eスポーツへの関心や認知度を調査する。

## ■実施概要

- ・実施期間 令和3年8月6日～8月13日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。